

飯野町団地



モノづくりの楽しさを共有しました。「大人の部活」は今後も月1回のペースで開かれる予定です

飯野町団地の集会所で、第1回の「大人の部活」が開かれました。この活動は、NPO法人ビーズふくしま(若月ちよ理事長)の支援によるもので、同NPOが運営する「みんなの家@ふくしま」から「エコクラフト部」部長の二瓶恵美子さんが来場。5人の参加者が、クラフトテープを使ったクリスマスリースづくりを、和やかに楽しみました。



リースを飾るかわいい見習い部員さんも

12/12

旧飯野小応急仮設住宅



脳を活性化し免疫を向上させる手指の運動などを講習。楽しい雰囲気でも心もほかほかに



食事や入浴も共にして交流を深めました

旧明治小応急仮設住宅

飯野地区に避難する村民14人が、地域の皆さんと共に、「心身のリフレッシュを図ろう健康運動ツアー」に参加しました。この催しは、避難者と地域住民の融和を図る福島市の「笑顔つなぐまち交流事業」によるもの。福島市飯坂町のホテルをバスで訪れた一行は、健康講話や体操、温泉入浴や会食で1日を共に過ごし、心と体をいやすながら交流を深めました。

11/29

松川第一応急仮設住宅



青空の下、屋外で楽しむボーリングは爽快です

自治会サロンで、ボーリング大会を開催しました。小春日和の青空の下、集会所前の広場には、約40人が集まりました。ピンとボールは、11月から2か月間、村社会福祉協議会からレンタルしていたものです。週に1回、好きな人が集まって、練習会もしていました。レーンが1本。一投一投を、全員がにぎやかに応援する楽しい大会となりました。

12/16

「体を動かしたいね」という声に応えての開催です



「とくちゃんがんばれ〜」ギャラリイも大盛り上がり



12/8

相馬大野台応急仮設住宅



住民とひざを交え親身に話す安齋さん(右端)たち

専門家の立場から被災者支援を行う「福島プロジェクト」のメンバー6人が集会所を訪れ、自治会の皆さんと交流しました。交流のはじめには、グループが今年村内で行った線量測定の結果について、世界的なデータと比較して解説。さらには住民の心配事に耳を傾け、より線量を下げるコツや、影響を軽減する暮らし方などをアドバイスしました。



線量を確認しながら、遮への仕方もアドバイス。翌日、大島幸代さん(関沢/右端)宅で

今年の活動を振り返る報告書は何だかホットする語り口



福島プロジェクト
放射線防護学者の安齋育郎さんをリーダーに、科学者とエンジニアが集い活動するボランティアグループの保育園などで被ばく軽減のアドバイスを継続する他、希望する住民の土地建物の線量を測定し、現状に即したより安全な暮らし方を提案しています。



【お詫びと訂正】12月号で「いいたて雪っ娘収穫祭」の主催を「かーちゃんの力・プロジェクトふくしま」と紹介しましたが、正しくは「いいたて雪っ娘かぼちゃプロジェクト協議会」でした。関係の皆様にお詫びして訂正いたします。